

●とびくす●

住宅完成見学会+勉強会

徳島地域会 岩本 祥一

まだコロナの第3波が来る前の11月初旬、徳島地域会青年部事業の勉強会（住宅見学会+勉強会）を開催しました。新型コロナウイルスの対策として、なるべく個別の車で現地集合、建物の換気、全員のマスク着用および人数制限を設けての開催となりました。

■勉強会概要

- 物件：平屋住宅 真壁造
- 場所：鳴門市内
- 設計：M-STYLE設計室
- 講師：島田めぐみ氏

今回参加者の中には初対面の方もいたので、軽く各々自己紹介をしてのスタートとなりました。

見学会の方は、まず講師の島田さんから建物の概要や特徴、設計や現場での苦労話等を話してもらいました。その後、建物内を各自自由に見学しながら、気になる箇所を質問するという形で進んでいきました。

今回の住宅は真壁造で、また、近年話題の省エネ法の気候風土適応住宅に適合した物件でした。

当日は図面と省エネの資料を用意していただき、今後省エネ申請を行っていく上でも役に立つような内容の勉強会となりました。

また、真壁の設計を経験したことがない方も参加されていたので、真壁の建物自体が新鮮だと興味深く見学されていました。

見学会自体とても有意義な時間を過ごせましたが、コロナの影響でイベント等も少なく、久しぶりにお会いした方たちもいて、久しぶりに近況なんかを話したりできたことが個人的には良かったかなと思いました。

今回の勉強会も開催するかどうかという初歩的なところから頭を悩ませることとなりましたが、少人数制とはなりましたが、やはり直接会って話ができる機会ができたという面ではこういったイベントの重要性を改めて感じる事となりました。

この先もまだまだコロナの影響は続いていくと思いますが、今後もできることを少しずつでもやっていきたいなと思いました。



●地域会だより●

私と建築士会

板野地域会 市川 和彦

1月13日、板野地域会会長M氏から、電話をいただき、新年のあいさつを済ませるとまちかど2月号の「地域会だより」の原稿を書いてくれとのこと。

そう言えば、昨年春、総会中止の連絡を受けて、当時の事務局長A氏から、まちかど来年の2月号当たっているから、原稿よろしくーと言われたことを思い出します。

あれから会長も事務局長も交代したからその話はなくなったと思っていたと返すとあまーいと一言。締め切りは1月21日なのでよろしくと。さあ、1週間で何が書けるのかと思いをめぐらせ、家に帰って、過去の「まちかど」を引っ張り出し、皆さんがどんなことを書いているのか、見始めます。

1番古いのは2001年1月号。最初の記事は当時の榎野清会長より新年挨拶です。続いて2月号には「がんばれフレッシュ建築士」と今でも毎年掲載されていますが2級建築士に合格したばかりの私の名前があり、小さいですが写真にも写っていました。

2001年4月号にハウスK-1グランプリの記事。50周年の記念イベントとして行われたのですが皆さん覚えていますか？吉野川遊園地で5月に開催され、海部支部が優勝。板野支部は惜しくも準優勝でした。このイベントは士会に入って、初めて参加した行事だったのでよく覚えています。

2001年8月号には「BIGが走る」2021年1月号でマラソンの原稿を載せている徳島地域会の桜田さんが初めてホノルルマラソンに参加した話が出ています。

私もマラソンを始めて10年が過ぎましたが20年以上前から続けられている方が士会の中にいらしたのですね。今度一緒したいです。

2002年1月号、私が初めて参加した県内交流会です。小松島・勝浦支部の担当、上勝町月ヶ谷温泉で開催されました。建築鉄骨の学習だったのですが鳴門支部のSさんが鉄骨にめちゃくちゃ詳しくあったことをよく覚えています。

2002年8月号、青年部の県外研修旅行の話が出ています。当日、大鳴門橋が事故で通行止めになっていて、瀬戸大橋経由で京都へ向かいましたが遅れて自家用車で来られた方が先に京都に到着していました。鳴門で待っているのが正解でした。

この旅行での思い出は夕食の後、何人かで町屋をレストランに改造したお店があるから行ってみようかと誘われ、ご一緒しました。その後、徳島支部のTさん、Kさんと3人で東寺を見に行こうという話になり、向かいました。

夕食を取ったホテルは三条京阪でレストランは10分程度で着いたと思います。そこから東寺まで、確か酔った勢いで歩いて行ったと記憶しています。酔い覚ましには良かったです。東寺を外から見た後、歩いて帰ろうとなったので学生時代を京都で過ごした私の提案で帰りは地下鉄を利用しました。この3人での夜の散歩は私の中では強く印象に残っています。

士会の旅で次に印象に残っているのは2007年9月北海道の全国大会です。この日、日本には台風が来ていて、北海道行は無理ではないかと思われましたが飛行機は飛びました。台風の上に行くのは問題ないらしく、通過する時には台風の目が見られました。もう二度とできない経験です。

北海道に着くと当時話題となっていた旭山動物園へ寄り、夜には青年交流会へ行く予定でしたが追いついて来た台風の影響でバスが遅れ、着いた頃には交流会の料理が残っておらず、腹ペコだったことが思い出されます。

2日目、全国大会会場で来年の徳島大会をアピールするために阿波踊りを披露しましたが足袋を忘れてしまったMさんは足を白く塗って踊ったとか踊らないとか…。

2008年は徳島での全国大会。準備から当日まで、とにかく忙しい日々でしたがそのお話はまた機会がありましたら。

(記事の一部を最終ページに掲載しています)

●あなたが出番●

『建築業界との出会い～現在』

阿南・那賀地域会 阿古目 康佑

私はまだまだ経験の浅い未熟者ではございますが、この度はありがたい機会をいただきましたことに感謝致しますと共に、僭越ではございますが私自身のことを少しばかりご紹介させていただきます。

私がこの建築業界に興味を持ったキッカケは、思い返せば小学生の頃に遡ります。高知県に住んでいた私は学校の授業で南海大地震の話題に触れることが多くありました。

過去の南海大地震による家の崩壊や大津波の様子等の写真を見て『明日、本当に地震がおきてもおかしくない』と、恐怖を覚えました。

その後も阪神淡路大震災での被害の様子やテレビ番組で報道される地震に関する映像には興味を持っていました。丁度進路について考える高校2年生の頃に、古い建物の中で地震に遭遇しました。

当時、建物が壊れないかという不安や、周りの居合わせた人達の怯える様子を見て、『地震が来ても壊れない家をつくりたい』『みなさんに安心して暮らしてもらう家をつくる』という決心をしました。

上記から、大阪にある大学の建築学科への進学を決め、建築と真剣に向き合うこととなります。

大学を卒業した私は、故郷徳島の工務店へ就職し、高校生の時に決心した、安心の家づくりを体現すべく社会人として歩み始めました。

学生の頃は教科書や美術館等、完成している建物を見るだけだった私にとって、実際の現場を経験することは家づくりの本質を学ぶ日々で充実したものでした。

プライベートでは良き出会いに恵まれて結婚し、2児の娘を持つ父親でもあります。

結婚や娘の誕生等、人生の節目を迎える中で、自身の人生について考える場面が多くありました。

その中で感じることは、自分は非常に恵まれた環境で多くの人と出会い、支えていただきながら日々、生活をさせていただいているということです。

歳を重ねるにつれ、日に日に今までお世話になった数多くの御恩を、少しずつでも周りの方々、次世代を担う子供達、そして故郷徳島へ直接的に恩返しをしたい。という志を抱き、その想いが強くなっていきました。

実際に、この志を形にするべく、現在は阿南で小学生からの同級生と二人三脚で工務店を経営させていただいております。

新築住宅やリフォーム工事、店舗改修等、さまざまなお仕事を通して『誰もが安心して暮らすことができる家をつくりたい』『周りの方々に恩返しをする』という想いを胸に日々真剣勝負を続けております。

今日に至るまで、開業前、開業後に関わらず今まで以上に多くの方々に応援を賜り、更に精進しなければと気が引き締まる思いです。

現在では、建築業界への恩返しはもちろんですが、次世代を担う地域の子供達に貢献ができないかと、スポーツ大会の開催や、英語教育の普及に寄附等をさせていただいております。

まだまだ小さな一歩ではありますが、いただいた御恩をお返しできるよう、更に精進致します。

どうぞ引き続きよろしくお願い致します。



●編集部よりのお詫び●

1月号の「あなたが番」のタイトルに誤りがありました。大変失礼をいたしました。
誤「建築士の日のイベント体験記走っても痩せない」
正「走っても痩せない」

●徳島地域会からのお知らせ●

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、3月に開催を予定しておりました「日帰バスツアー」は、中止することといたしました。

参加者の皆様の感染予防を第一に考え、やむなく中止の判断をさせていただきます。

ツアーを楽しみにされておられた皆様には、多大なご迷惑をおかけしますことを心よりお詫び申し上げます。

●あなたが番●

※板野地域会 市川 和彦さんの記事の一部です

それではここで折角20年分の「まちかど」を見ていきましたので原稿掲載の多かったランキングを調べてみました。

- 1位 矢部洋二郎さん 27回
- 2位 垂土留・古巣さん 24回
- 3位 杉本真理子さん 19回
- 4位 高田哲生さん 16回
- 4位 上柿重信さん 16回

他にも10回以上の方は、喜島さん、佐藤さん、庄野さん、石井さん、今岡さん、後藤さん、中野さん、蓑田さん、岩本さん、藤高さんでした。

ちなみに私は今回で6回目でした。

(編集部 地道な調査ありがとうございました)

●士会だよりー本部●

啓発アニメ「ブロック塀も年をとる!？」
をYouTubeで

危険ブロック塀改修のための啓発アニメ（約3分）をYouTubeにアップしました。

これは、徳島市から委託を受けた「津田新浜地区・地域の安全モデル事業」で制作されたものです。

小さなお子さんからお年寄りまで、家族で一緒に見てもらいたいビデオです。よろしければ、ぜひ拡散をお願いします。好評だったら続編もありかな…。

<https://youtu.be/e8D7Q28whXI>

●士会だよりー連合会●

「首里城再建支援金」のお願い

過日の首里城の火災により、主要な建物が全焼し、琉球王国時代から伝わる貴重な収蔵品の多くが焼失しました。

現在、沖縄県内では首里城再建のための募金活動が行われており、

建築士会本部行事案内

令和3年2月		令和3年3月	
5日(金) 常任理事会	(士会会議室)	10日(木) 住宅相談	(士会会議室)
10日(木) 住宅相談	(士会会議室)	17日(木) 住宅相談員会議(セピア)	(建設センター3階)
13日(土)~14日(日)		24日(木) 住宅相談	(士会会議室)
中四国スキーツアー	(ハチ北高原スキー場)		
17日(木) 住宅相談員会議(セピア)	(建設センター3階)		
24日(木) 住宅相談	(士会会議室)		

※ 木造住宅耐震相談は、平日の午前10時から午後4時まで実施しています。

※ 住宅相談は第2・第4水曜日の午後1時・2時・3時(相談時間は1時間以内)に実施しています(要予約)。

沖縄県建築士会においても、「首里城再建支援金」口座を開設しております。

そこで、連合会ではHPに「首里城再建支援金」と見出しを付けて支援金専用口座を開設致しておりますので、会員および関係機関に御周知いただき、多くの募金が集まるよう御協力をお願い申し上げます。

ミスのない建築確認申請のために!

確認検査員からみた 建築確認申請のポイント

著 石井 京子 (建築基準適合判定資格者・一級建築士)

B5判・総頁328頁 本体価格4,300円+税 送料実費
(電子版) 本体価格3,900円+税

新日本法規出版 高松支社
0120-089-339 受付時間 8:30~17:00 (土・日・祝日を除く)
E-mail takamatsu-eigyo@sn-hoki.co.jp



木を知り尽くした ナイスの木構造建築事業。

ナイスは
木の限らない可能性を生かした
木構造建築を推進します。

WOOD BUILDING NETWORK 非住宅案件の相談窓口
木造テクニカルセンター 045-503-3134
mtc@nice.co.jp

NiCE ナイス株式会社

※次回編集会議は 令和3年2月22日(月) 16時30分～

編集後記

- ・毎週日曜21時からNHK・FMで「ディスカバー・ビートルズ」という番組をやっています。ビートルズファンの方、是非どうぞ。(ノーリツ号)
- ・あびいろーどいきました。(ちりめん)
- ・石井の??。(酎西)
- ・石井町の?。(ぺべい)
- ・名西郡石井町の??。(ひとはたうさぎ)